

伝統工芸品への支援について

大森 貴之



の場所、数量等は現在のところ把握していない。

〔質問〕市が所有する山林で、原木を植樹できないのか伺う。

〔質問〕本年開催された全日本こけしコンクールは大盛況であったが、来年以降、幾つかの不安要素が見受けられる。こけしの材料となる原木、特にミズキの木の入手が困難になっており、白石に限らず、鳴子や他の産地でも同様の状態と言われている。

〔答弁〕〔商工観光課長〕平成の森に市行造林として植栽したミズキが活用できる状態になっていることを確認している。

また、今年は弥治郎こけし村が開村30周年を迎える記念の年であることから、同地内に30本のミズキを植栽したいと考えている。

〔質問〕白石市として、こけし原木の生産に積極的に関わり、林業としての生業に取り組んでいくべきと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕白石蔵王森林組合も含め、専門の方々と連携をしながら、これらの課題に向き合っていきたい。

〔質問〕白石和紙は、伊達藩主とその家臣片倉家による奨励保護のもとで発展。地元で採れる優良の楮(コウゾ)を用いた紙が使われ、地域を代表する名産品となり、全国的な名声を博し、幕府や朝廷への献上品にもされた。遣欧使節の支倉常長が懐紙として持参し、フランスやヨーロッパでも非常に高い評価を受けている。白石和紙の継続発展のために、伊達藩が行なったような官民体の支援を、市として総合的にできないのか伺う。

〔答弁〕〔副市長〕白石和紙は、白石三白の一つとして、今後引き継ぎ、白石和紙の製造と継承を多方面から支援していきたい。

障害者支援対策について

佐久間 順子



〔質問〕放課後児童デイサービスについて、福祉団体より、長期休暇時に近隣市町の事業所を利用しているケースがあると聞いている。

〔答弁〕〔保健福祉部長〕本市として、どのように考えるか伺う。

所予定の事業所があることから、仙南圏域では今後、利用先の受け入れも拡充し、利用者のニーズに合わせた支援が可能となる。

本市では、令和4年度から実施している。医療機関によって、自動聴性脳幹反応検査と、スクリーニング用耳音響放射の2種類が使用されているが、いずれの検査も助成対象としていない。なお、助成上限額については、これまで5千円としていたが、令和6年度から8千円に引き上げ、初回検査において、再検査になった場合においても同様に、8千円を上限に助成している。

〔質問〕医療的ケア児の保育園入園について伺う。

〔答弁〕〔市長〕医療的ケア児の入園の希望があれば、可能な限り適切な支援が受けられるよう、関係機関と緊密な連携のもと、安心して子どもを産み育てることができるよう環境と、誰一人取り残されない幼児教育・保育の実現に向け、切れ目のない支援体制を構築していく。

〔質問〕今後の本市の障害者支援のための体制整備について伺う。

〔答弁〕〔健康推進課長〕

〔質問〕新生児自動聴性脳幹反応検査の助成金について伺う。

〔答弁〕〔健康推進課長〕

〔答弁〕〔市長〕本市だけではなく、仙南地域での広域連携を強固なものにし、限られた社会資源や人材を最大限に活用し、障害の有無によらず誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を目指し、今後も努力していきたい。

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。